

医師・研究者キャリア支援センター 活動報告書

自治医科大学
2018

はじめに

医師・研究者キャリア支援センター長 挨拶
小宮根真弓 皮膚科学 教授



医師・研究者キャリア支援センターは、平成19年に、女性医師支援センターとしてスタートしました。平成24年度から、支援の対象を女性医師のみならず男女の医師・研究者に拡大し、現在の医師・研究者キャリア支援センターとして活動しています。

2016年度より、当センターの活動を報告書にまとめることにしました。2018年度も、自治医大の職員の方々が、より快適に仕事を続けていくことができるように、職場の環境改善を目指しています。

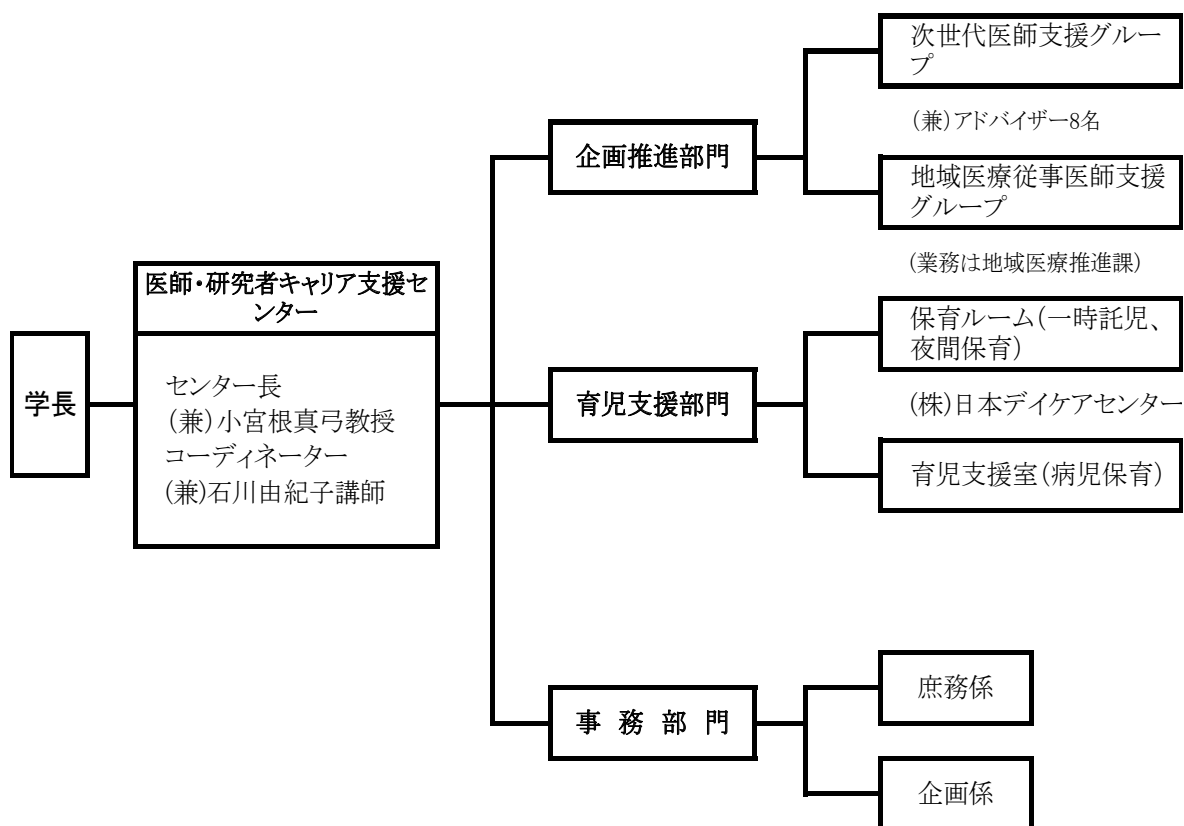
次世代医師・研究者交流会には、医師、研究者の方々の仕事に対するモチベーションを高めて頂けるようなお話を、著名な先生を講師としてお呼びして、ご講演頂いています。2018年度は、女性研究者の大島まり先生をお呼びしました。サイエンスカフェ形式の開催で、参加者は先生と意見交換ができ、有意義な時間を共有することができました。働き方を考えるセミナーには、育児・家事を実践されている石蔵文信先生をお呼びしました。参加者は決して難しく考えず、簡単なことから始めるワークライフバランスのヒントを得た様子でした。

Jichi Joy Café(JJC)は2016年度より、総合診療内科の石川由紀子先生が中心になって始めた活動です。2018年度も昨年度に引き続き3回行いました。キャリアの継続と家庭の両立について情報交換し、働きやすい職場づくりについて考えるための交流会として、あるいは同じ大学に勤務し、同じ悩みを共有できる仲間のネットワークづくりに、多くの職員の方々に利用していただけだと思います。

保育ルームあいりすでは、一時保育、病児保育、夜間保育、送迎サービスや自宅保育をこれまで通り継続して行っています。2018年度も多くの利用者がありました。また、わかくさ保育園(下野市民優先)の建替えに伴い、当センターでは、全職員あてアンケート調査を実施しました。その結果、8割以上の職員が新保育所が必要であると回答しました。こうした結果を踏まえ、数年の間には、職員のための新保育施設が完成する予定です。

今後も、より充実した支援体制・活動を目指してまいります。当センターを最大限に活用していただければ幸いです。

医師・研究者キャリア支援センター体制

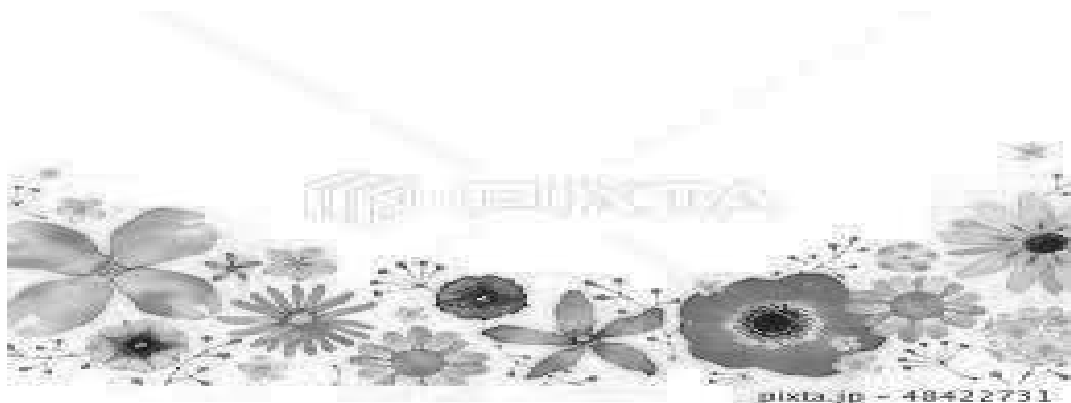


スタッフの紹介 ※新任

- ・ センター長 小宮根真弓 (皮膚科学教授)
- ・ コーディネーター 石川由紀子 (地域医療学センター講師)
- ・ アドバイザー 山形 崇倫 (小児科学教授)
- ・ アドバイザー 黒須 洋 (抗加齢医学研究部准教授)
- ・ アドバイザー 小川 真規 (保健センター教授)
- ・ アドバイザー 鴨下 信彦 (病態生化学講師)
- ・ アドバイザー 小形 幸代 (循環器内科学講師)
- ・ アドバイザー 川合 志奈 (小児泌尿器科助教)
- ※アドバイザー 高橋 将文 (細胞生物研究部准教授)
- ※アドバイザー 加藤 梨佳 (精神医学助教)
- ※園 医 横山 孝二 (小児科学講師)
- ・ 園 長 上野 久子 (看護副部長)

➤ 2018 年度 活動状況一覧

- 1 次世代育成支援 ○ 次世代医師・研究者講演会 (2/27)
「サイエンス カフェ」
東京大学大学院情報学環/生産技術研究所・教授 大島まり氏
- 2 就業継続支援・復職支援 (随時)
 - ・勤務継続のためのカウンセリング、コーディネート
 - ・短時間勤務者フォロー
 - ・Jichi Joy Café (7/20, 11/2, 2/1)○「働き方を考えるセミナー」講演会 (9/21)
大阪大学人間科学研究科 未来共創センター招聘教授 石蔵文信氏
- 3 育児支援
 - ・保育ルーム「あいりす」を運営し、一時託児
夜間保育・病児保育を実施
 - ・医学部1年生保育ルーム見学 (5/29, 6/5)
 - ・パパとママの子どもの食事の話 (10/16)
 - ・小児科の医師からパパ、ママに伝えたいこと (11/9)
 - ・サポート会員懇親会 (1/22)
 - ・BLS 研修会 (11/13, 22, 27, 12/4)
 - ・夏祭り (8/4), クリスマス会 (12/15)
- 4 地域医療従事医師支援 ・本学卒業生のワークライフバランスを考える会
(地域医療推進課で実施)
- 5 アンケート調査の実施 ・保育園建替えに関するアンケート
- 6 広報誌発行 ・ニュースレターの発行 (2回)



全職員・学生・一般 どなたでも参加できます

第14回

次世代医師研究者交流会 サイエンスカフェ

これからの科学や医療を担う次世代に、今私たちができること



大島 まり 先生

東京大学大学院情報学環/生産技術研究所・教授

進化する科学技術と医療の関係
－これからの女性のキャリアを考える－

【プロフィール】

東京大学大学院工学系研究科博士課程修了（工学博士）。東京大学生産技術研究所助手、文部省在外研究員（米国スタンフォード大学）、東京大学、筑波大学を経て、2006年より現職。国立高等専門学校機構男女共同参画担当理事、95期（2017）日本機械学会会長。NHK「サイエンスZERO」コメンテーター、フジテレビ「ガリレオ」科学監修。

女性研究者として研究を続けながら、後進育成のため科学技術教育にも熱心に取り組み、一方、一児の母としても奮闘中の大島流、仕事を楽しむ方法とは？

日時

2019年 2月27日（水） 17:45～19:00

会場

自治医科大学附属病院 新棟南館 5F ラウンジ

懇親会：19:00～20:00（無料、同会場）



<お問合せ> 自治医科大学医師・研究者キャリア支援センター

TEL：0285-58-7561（2448） FAX：0285-44-8627

e-mail：career-support@jichi.ac.jp

**進化する科学技術と医療の関係
—これからの女性のキャリアを考える—**

自治医科大学 次世代医師・研究者交流会
(2019年2月27日 (水))

東京大学
大学院情報学環・生産技術研究所
(株)豊田中研究所 社外取締役

大島 まり
http://oshimalab.iis.u-tokyo.ac.jp

自己紹介

専門：バイオ・マイクロ流体工学、科学技術教育
循環器系疾患のマルチスケール連成解析

- 医学・工学の連携した研究分野
- メカニズムの解明とともに、個別の患者に対応できる治療・診断システムの開発
- 研究を取り入れた科学技術教育
- サイエンスZERO コメンテータ「ガリレオ」「アドリアネの果丸」科学監修
- 科学監修
- 夢の原、世界一受けたい授業

1992年 東京大学大学院工学部工学系
博士課程修了
その後、東京大学工学部生産技術研究所の
助手、講師、助教授を経て、
2006年～ 現職
2011年～ 次世代育成オフィス 室長
2017年 取締役会 会長
2018年 豊田中研究所 社外取締役

血流による力が細胞に影響を与える

血液が血管壁に力学的刺激を与える

壁面せん断応力
正常な場合

壁面せん断応力
小さい場合

内皮細胞に影響

動脈硬化症

Malek, A. M., JASMI, 202, 1999

血流はどうしたらわかるの？

医用画像や実験
では限界

組み合わせ コンピュータ・シミュレーション

太い血管 (100μm以上)

細い血管 (100μm以下)

医療分野でのコンピュータ・シミュレーションの応用

●医用画像との組み合わせによる新しい展開

従来の手法
動物実験
臨床試験
疫学調査

+ コンピュータ
シミュレーション

- 非侵襲であり、倫理的な問題がない
- 壁面せん断応力などの力学情報の取得
- 予測・手術計画に最適
- より高度・安全・安心な予防、治療、診断方法の研究開発を迅速に推進

●発展できる柔軟なシステム

新しい医学・生理学的な知見を継続的な組み込みが可能、時代とともに技術が「成長」
→ビッグデータ・AIにより臨床応用も始まっている

循環器系統合シミュレーション

●MRI/CTなどの診断機器の医用画像に基づき(Image based)、実際の血管形状を作成

●患者個人個人の血管形状を考慮した(Patient specific)血流解析

●ミリオードの太い動脈から、毛細血管の効果まで含めたマルチスケールな解析

●脈動に伴う血管壁の移動、血流による血管内物質の壁面透過など脳血管におけるマルチフィジックスの解析

結果の検証
結果の可視化
より効果的な予防・治療法の開発、...

これからの科学技術

科学技術

理学 ... 工学 農学 医学 ...

人文 ... 経済 教育 政治・政策 ...

法学 ...

一般に理系系に関連した分野と思われがち

既存の分野にとらわれない
異なる分野も必要となっている

トランスサイエンス問題への取組みの必要性
科学に問うことはできるが、科学だけでは答える
ことができなくなっている

**次世代育成オフィス
(Office for the Next Generation :ONG)**

産業界との強い連携

教育界との様々な連携

産業界
教育界

様々な機関や企業と連携した
教科・科目横断 STEAM型教育プログラムの創出
Science, Technology, Engineering, Arts, and Mathematics

連携の強化・充実のためのシステム構築

産業界 ONG

研究者・技術者直接参加型活動
・リソースの相互提供
・コンテンツ制作の共同・協働

ICTによる浸透・普及活動
・実験教材
・映像教材(DVD、WEB配信)

工場見学 グループワーク 実験 コンテンツ化 実験教材 映像教材

科学技術と社会のつながり 科学技術と教科のつながり

新しい知財を創出する次世代の人材育成

新しい情報発信
・CSV(Create Shared Value)としての新しい形

教育界

社会に開かれた教育課程

アクティブラーニング
教科横断型教育
探究型学習

①知識・技能の修得
②思考力・判断力・表現力の育成
③学びに向かう力・人間性等の涵養

Science, Technology, Engineering, Arts, & Mathematics

第14回 次世代医師研究者交流会は、メインテーマを「これからの科学や医療を担う次世代に、今私たちができること」と題して、東京大学 大島まり先生に、「進化する科学技術と医療の関係-これからの女性のキャリアを考える」との内容で、新館南棟5階のスカイラウンジにて、サイエンスカフェ方式で開催しました。



講演は、先生ご自身の学生生活、出産、子育てのエピソードから始まり、その後、先生のご専門であるバイオ・マイクロ流体工学の話では、循環器疾患とシュミレーション、予防医療に向けたシュミレーション技術開発、これからの科学技術を考えるうえでのSTEAM (Science, Technology, Engineering, Arts, and Mathematics) 教育の必要性、次世代育成オフィス (Office for the Next Generation: ONG) の産業界と教育界とを連携した活動内容について等、多岐にわたり、お話いただきました。



講演後、学長、副学長、参加者と女性としての立場、また研究者としての立場からいろいろな意見交換をすることができ、有意義な時間を共有することができました。

後日、参加者からは、高い専門性と広い視野での話に感銘を受けた、研究と産業の連携の話がわかりやすかった、女性研究者をencourageすることが自身につながったと思った、ONGの活動や大島先生のキャリアアップの話が印象的だった等、ポジティブな意見が多数寄せられました。

今後も医師・研究者キャリア支援センターでは、女性研究者はもちろん、将来の科学教育を担う研究者をお招きしての講演会を随時開催していきたいと思ひます。

就業継続支援・復職支援

1 平成 30 年度 アドバイザー等による相談受付

勤務継続支援に関する相談（11 件）を行った。

2 マタニティ白衣のレンタル

女性医師を対象に、妊娠中に使用するウエストが調節可能なコートタイプのマタニティ白衣のレンタル（無料）を行った。数年前から、半袖タイプ白衣を導入し、長袖Lを増やし、ニーズに応えられるようにしている。（平成 30 年度利用者 1 名）

3 「J i c h i J o y C a f e」の実施

当センターの活動の大きな柱の一つとして、キャリアの継続と家庭の両立について情報交換し、働きやすい職場づくりを考えることを目的に、毎回テーマを決めて開催している。対象者は、原則として医師、研究者、学生である。平成 30 年度は、3 回開催した。

4 「働き方を考えるセミナー」の開催

平成 30 年度は、「男女共に考える働き方改革」をテーマに、学外から講師を招聘して、講演会及び懇親会・意見交換会を実施した。

- 復職支援として、メディカルシュミレーションセンターの医療安全プログラム及び医療技術トレーニング部門の教育プログラムの利用についてご案内している。



「第7回 Jichi Joy Café」開催結果報告

自治医科大学 医師・研究者キャリア支援センター
第7回 Jichi Joy Café
「働き方を考える. In The Jichi」

日時 7月20日(金) 12:30~14:00
場所 自治医科大学 新館 2F 会議室1
対象 医師・研究者・学生 初めて参加される方や男性の方参加も大歓迎です

病院長と話そう!!

☆ 講話: 『働き方と考え方の多様性 (ダイバーシティ)』
自治医科大学附属病院
病院長/消化器外科学教授 佐田 尚宏 先生

☆ ディスカッション: 自治医大! 男女ともに働きたい職場とは?
フリートーク

◆ お申込は、7月10日(火)迄に下記メールアドレス又はお電話にて、医師・研究者キャリア支援センター
担当 青木・長瀬までご連絡下さい。!! 心ばかりの献食をご用意しております!!

< 主催 > 自治医科大学医師・研究者キャリア支援センター
< お問い合わせ > TEL: 0285-58-7561 内線: 2448 FAX: 0285-44-8627
e-mail: career-support@jichi.ac.jp

平成 30 年 7 月 20 日(金)自治医科大学附属病院 新館 2F 会議室 1 に於いて、第 7 回 Jichi Joy Café を開催致しました。今回は、自治医科大学附属病院「究極のボス」佐田病院長をお招きいたしまして「働き方と考え方の多様性 (ダイバーシティ)」と題しましてご講話いただきました。

「医療界も innovation を考えなければならない時」!!

佐田先生ご自身の働き方に関する考え方、さらには外科医局において取組まれている働き方の多様性の事例を紹介してくださいました。その中で、自分のやりたいこと好きなことをやる事が、エネルギー源となり(快感原則)、モチベーション維持に大きく繋がるというお話が印象的でした。そして、自分のやりたいことをやるために、同じ職場で働く同僚のやりたいことにも協力することにつながり、「お互い様精神」が生まれること、更には個人がやりたいことを組織がサポートすることで、組織も共に成長出来るというお話は、本学で勤務する医師・研究者の励みになるメッセージでした。さらには、プライベートの時間で充電することの大切さも、素敵なお写真ともに紹介頂き、なかなか普段は聞けないお話が伺え、惜しみなく先生の考えをお話くださいました。

講話の後のディスカッションにおいては、今回参加されました教員、医師、シニアレジデント、リサーチレジデント、大学院生、医学生と様々な立場からのご意見ご感想をいただきました。

当センターでは、皆様から頂きました貴重なご意見を集約できるよう活動を続けていきたいと思っております。

記

1.開催内容

♣30 年度テーマ: 「働き方を考える. In The Jichi」

2.当日タイムスケジュール

- | | | |
|--------------------------------|---------------------|--------|
| ① あいさつ | センター長 小宮根 真弓 | 12:30~ |
| ② 参加者の声 (医師・研究者キャリア支援センター活動より) | アドバイザー 加藤 梨佳先生 | 12:35~ |
| ③ 講話 | | 12:45~ |
| ♣ 「働き方と考え方の多様性 (ダイバーシティ)」 | | |
| | 病院長/消化器外科学 佐田 尚宏 先生 | |
| ④ ディスカッション (自己紹介・意見感想など) | | 13:15~ |



以下に、今回のアンケートのご意見を掲載いたします。《原文のとおり記載》

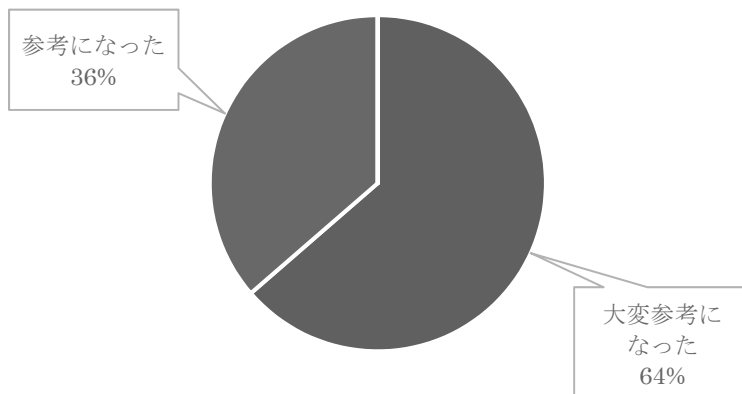
第 1 回 Jichi Joy Café アンケート

1. 本日の内容についてご感想をお聞かせください。

アンケート回答数 11/32 (回答率 34.3%)

(該当箇所に○をお願いします)

- (1) 大変参考になった 7 人
- (2) 参考になった 4 人
- (3) 普 通 0 人
- (4) 参考にならなかった 0 人
- (5) 全く参考にならなかった 0 人



2. Q1 のお答えの理由をお聞かせください。

- ディスカッション後半からの参加となったため、よくわからない部分もありましたが、先生方のご意見についてはとても参考になりました。
- 様々な立場の方の参加で、それぞれ悩みは多種多様。反対にどういう選択をするかも自分次第なんだと再確認しました。
- いろいろな部署の方々が参加していたのでそれぞれの医局の雰囲気があって働きやすかったら、困っていたり自分の努力ではどうしようもない環境がある事が知れた。佐田先生のお話が本当に分かりやすく、心にしみいつてくるお話だった。何より、各科の方々を知ることができて良かった。
- 佐田先生のお話がとても共感でき、トップの方が柔軟でいらっしゃって嬉しいです。
- Apple Amazon といった企業→イノベーションといった話が伺えてよかった。医療は働き方が考えられていない職種のフロンティアの 1 つである。自分が現場に出る頃には理解ある先生が増えればと感じた。
- 働き方がハードなイメージが強い外科トップの先生の考え方が分かり、先入観だけで各科を見るより、実際に働く先生方と直接お話をする大切さが分かりました。
- 自分自身が好きなことにチャレンジするだけでなく、そのような人を支援することも大切なのだなあと改めて思うことができた。
- モチベーションの持ち方、考え方の多様性について考えさせられた。
- Jichi Joy Café のいままでの変遷について知れた。各回ごとに情報やアンケートをまとめて進化しているのだと思ったので大変参考になった。
- 院長のお話が、特に、自分が幸せでないと、他人を幸せにできないという主旨のお話に感動した。
- 様々な立場の方のお話を聞くことができ、大変参考になりました。

「第8回 Jichi Joy Café」開催結果報告

2018年11月2日に第8回 Jichi Joy café を開催しました。

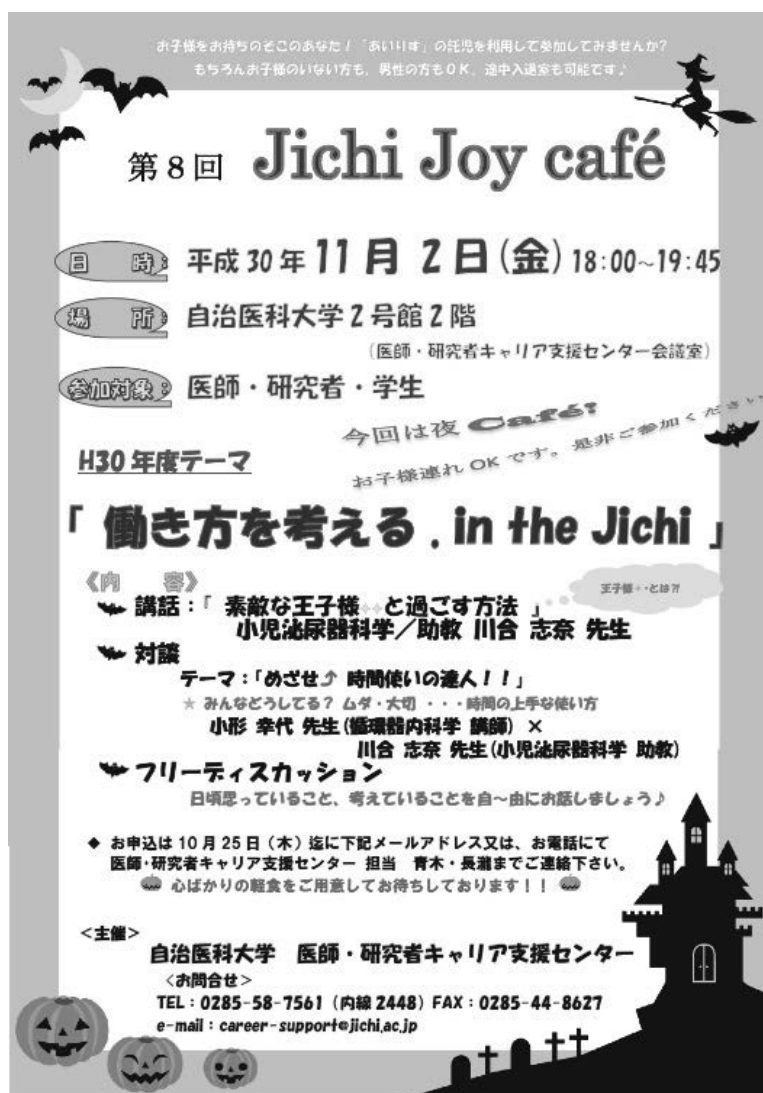
30年度テーマ「働き方を考える。In The Jichi」

これまでお昼休みの時間帯に開催していた Jichi Joy café ですが、第8回はお昼に来られない方々にも是非参加して頂きたいという思いから夕方開催しました。今回は小児泌尿器科の川合志奈先生をお招きし、『素敵な王子様★と過ごす方法』をご講話いただきました。

これまで先生と関わられた上司、病院スタッフ、患者さん、主夫である旦那さまそして息子さん…をつぎつぎに『王子様』として認定し、どんどん巻き込んで、ぶれない女性泌尿器科医としてのプロフェッショナルな道のりを形成された川合先生の生き方に皆感銘を受けました。また、家庭での旦那さま・子供との効果的なコミュニケーション方法など、ご主人の主夫力の引き出し方など、とても参考になりました。学生さんの参加もありましたが、進路の上でも大変参考になったという感想が聞かれました。

普段は仕事に家事や育児と多忙を極めている参加者の皆さんですが、保育ルーム「あいりす」の託児をご利用したり、お子さまと一緒に参加したりと、お昼休み開催時とは違いゆったりとした雰囲気の中、自然と会話が弾んでいた様子で、日頃のお考えを十分お話出来る場所となったように感じられました。

当センターでは、皆様から頂きました貴重なご意見を集約できるよう今後も活動を続けていきたいと思っております。



お子様をお持ちのあなた / 「あいりす」の託児を利用して参加してませんか？
もちろんお子様のいない方も、男性の方もOK。途中入退室も可能です。

第8回 Jichi Joy café

日時 平成30年11月2日(金) 18:00~19:45
場所 自治医科大学2号館2階 (医師・研究者キャリア支援センター会議室)
参加対象 医師・研究者・学生

今回は夜Café!
お子様連れOKです。是非ご参加ください。

「働き方を考える。in the Jichi」

内容
講話：『素敵な王子様★と過ごす方法』 小児泌尿器科学/助教 川合 志奈 先生
対談
テーマ：「めざせ！ 時間使いの達人！！」
★ みんなどうしてる？ ムダ・大切・・・時間の上手な使い方
小形 幸代 先生(循環器内科学 講師) × 川合 志奈 先生(小児泌尿器科学 助教)
フリーディスカッション
日頃思っていること、考えていることを自～由に話しましょう！

◆ お申込は10月25日(木)迄下記メールアドレス又は、お電話にて
医師・研究者キャリア支援センター 担当 青木・長瀬までご連絡下さい。
● 心ばかりの軽食をご用意してお待ちしております！！ ●

<主催> 自治医科大学 医師・研究者キャリア支援センター
<お問合せ>
TEL: 0285-58-7561 (内線2448) FAX: 0285-44-8627
e-mail: career-support@jichi.ac.jp

【開催内容】

◆当日タイムスケジュール

- ① あいさつ センター長 小宮根 真弓 18:00~
- ② 講話 『素敵な王子様★と過ごす方法』
小児泌尿器科学 助教 川合志奈先生 18:05~
- ③ 対談 対談テーマ「めざせ！ 時間使いの達人！！」
循環器内科学 講師 小形幸代先生 ×
小児泌尿器科学 助教 川合志奈先生 18:35~
- ④ ディスカッション (自己紹介・ご意見・ご感想等) 19:00~



以下に、今回のアンケートのご意見を掲載いたします。

《原文のとおり記載》



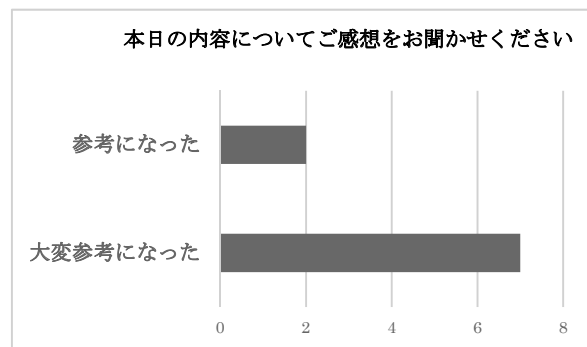
第8回 Jichi Joy Café アンケート



アンケート回答数 9/15 (回答率 60%)

1. 本日の内容についてご感想をお聞かせください。

(1) 大変参考になった	7人
(2) 参考になった	2人
(3) 普通	0人
(4) 参考にならなかった	0人
(5) 全く参考にならなかった	0人



2. Q1のお答えの理由をお聞かせください。

- 川合先生のお話もとても良かったですし、他の先生の時間の使い方もとても参考になりました。
- 皆さんのお話をきけて良かったです。
- 川合先生の話がとても役に立ちました。
- 川合先生のお話やみなさんのお時間の使い方が勉強になりました。
- リアルな話が聞けた。泌尿器で働く女医の話がきけて為になった。
- 医師や研究者に限らず参考になる話だった。しかも楽しく話をしてくださったのですんなり内容が入ってきた。

3. 次回の Jichi Joy café へのご意見、ご要望について（開催方法、開催時間、講話テーマ）

- 夕方だと参加しやすいです。仕事中は抜け出せないのです。
- 開催時間については、今回参加しやすくて良かったです。
- 今日の時間だと助かります。
- 昼だと学内の方が参加しやすい。病院、研究棟など。
- 昼はあっという間にすぎるので夜の方がゆっくりできて良かった。あいりすさんは大変だが、子供を見てもらえるのが本当に助かる。ただ机を並べて会議のようにディスカッションするよりやはり食事をしながらの方が、笑って盛り上がるような気がします。

4. 医師・研究者キャリア支援センターへのご意見、ご要望等ございましたらご記入ください。

- おもしろい会に参加させていただきありがとうございました。
- 学内や院内で出会っていたらそこまで雑談できる関係にはなっていなかったと思いますが、ほとんどのの方がまず母親として自己紹介をされるので、どちらかというとママ友感覚でプライベートのことも話しやすくなりました。このような感じで先生方と知り合えて且つ色々な話をきけて本当に参考になりますし、皆さんそれぞれ頑張っているのが元気がもらえます。

「第9回 Jichi Joy Café」開催結果報告

30年度テーマ「働き方を考える.In The Jichi」

2019年2月2日に第9回 Jichi Joy Caféを開催しました。前回に引き続き今回も夜に開催し、仕事を気にせずゆっくりとした時間を過ごすことができました。

今回は、当センターのアドバイザーであり、本学の産業医でもある保健センターの小川真規先生に『働く』というテーマでお話し頂きました。

皆さんも「両立支援」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？医療職の立場として治療と就労の両立も大事ですが、今回は出産・育児を中心とした家庭と就労の両立を中心にお話し頂きました。育児支援の制度は整ってきていますが、家庭と就労の両立をすることは大変な現実があります。それを少しでも変えるためには**声を上げることが大切**というメッセージは参加者の心に強く残りました。また、支援と貢献は対価関係にあることを理解し、に感謝する心を持つことが大切だということも改めて感じました。

両立支援については、下記のHPも参考にしてください。

厚生労働省委託事業 女性の活躍・両立支援 総合サイト 両立支援の広場：

<http://ryouritsu.mhlw.go.jp/>

医師・研究者キャリア支援センターでは皆様の声をぜひ聴かせて頂きたいと考えています。

ご意見等がありましたら気軽にお寄せ下さい。

【開催内容】

◆当日タイムスケジュール

- ① あいさつ センター長 小宮根 真弓
- ② 講 話
『 働く 』
保健センター 教授 小川真規先生
- ③ 医療・研究機関勤務者の就業支援に向けた
疫学研究アンケートより
精神科 助教 加藤梨佳先生
- ④ フリートーク



第9回 Jichi Joy café

日 時: 2月1日(金) 18:00~19:45

場 所: 自治医科大学 2号館 2階
(医師・研究者キャリア支援センター事務局)

参加対象: 医師・研究者・学生
♪ 初めて参加される方や男性のご参加もちろん大歓迎です

30年度テーマ
「働き方を考える.in The Jichi」

《内 容》
講話: 「仕事を続ける！」
保健センター/ 教授 小川 真規 先生
※両立支援、他業種の good practice、課題などについてお話いただきます
就業支援に向けた疫学研究アンケートより:
精神科/ 助教 加藤 梨佳 先生
フリーディスカッション(自己紹介等):
♪日頃悩んでいること、考えていることを自由にお話ししましょう♪

◆ お申込は1月25日(金)迄に下記メールアドレス又は、お電話にて医師・研究者キャリア支援センター 担当 青木・長瀬までご連絡下さい。

△ 保育ルーム「あいりす」の託児利用も可能となっております。詳しくはこちらをご覧ください。△

<主催> 自治医科大学 医師・研究者キャリア支援センター
<問合せ> TEL: 0285-58-7561 (内線2448)
FAX: 0285-44-8627 e-mail: career-support@jichi.ac.jp

以下に、今回のアンケートのご意見を掲載いたします。

《原文のとおり記載》



第9回 Jichi Joy Café アンケート

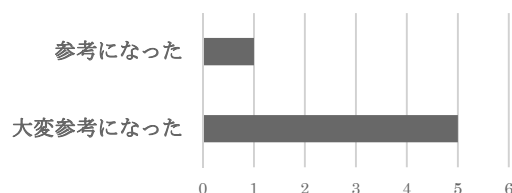


1. 本日の内容についてご感想をお聞かせください。

- | | |
|-----------------|----|
| (1) 大変参考になった | 5人 |
| (2) 参考になった | 1人 |
| (3) 普通 | 0人 |
| (4) 参考にならなかった | 0人 |
| (5) 全く参考にならなかった | 0人 |

アンケート回答数 6 / 12 (回答率 50%)

本日の内容についてご感想をお聞かせください



2. Q1のお答えの理由をお聞かせください。

- 女性のキャリア等初めて知る内容でしたので、大変勉強になりました。
- 実際の自分の体験が聞けるので、自己紹介のときから話に引きこまれる。
- 今回は人数が少なめでしたが、かえって親密度が高まったように思います。色々なお話が聞けました。
- 改めて両立支援の基本を考える機会を頂きました。今の日本で何が問題なのかを考える事が出来ました。

3. 「支援と貢献」のお話より、自分にできる支援、貢献とは何か？具体的に挙げてみてください。

- トラブルがあったときのことを考えるとききちんとした手順が必要なのかもしれないが、何か子供のことを頼むとき、もう少しママ友に頼む感覚でお互い頼れたらいいと思う。
- 時短や育児中の先生に理解を示すこと。また、そのような理解を広く普及させること。
- 支援は育児、介護、健康問題を抱えている方が、気軽に相談できる部署があり、その部署があることが周知されていること。
- 話を聞いてあげること。また、その内容を管理職に提示すること。

4. 本日の話を踏まえて、改めて働き続けるためにどのような事が障害となっていて、どのような支援が必要だと思いますか？

- 日本にある伝統的な「性別役割分業意識」が障害であると思う。女性だけでなく男性にも強制的に 育児休暇を取得させ、育児が女性だけに偏らないような支援をすすめていくことが今後、役割意識が変化すると思われる。
- 妊娠・出産・育児による仕事と生活の両立が障害になっているように思いました
- あいりすの方々のサポートはすばらしいので、理解も出来る。
- 職場に子供をつれていける会社が増えれば母も保育士も楽になると思う。
- 女性に家事・育児の負担がかかりすぎている。配偶者や家族の理解も必要。

自治医科大学 医師・研究者キャリア支援センター

働き方を考えるセミナー

日時: **9月21日(金)** 18:00~

会場: 自治医科大学 本館 3F 講堂 1

メインテーマ: 「～男女共に考える働き方改革～」

対象者: 教職員、学生、その他

石蔵 文信 (いしくら・ふみのぶ) 先生

国立循環器病センター、米国メイヨークリニック・リサーチフェロー、大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻准教授、大阪樟葉女子大学教授を経て、2017年4月から大阪大学人間科学研究科未来共創センター招聘教授。専門の循環器内科と共に心療内科領域等に中高年のメンタルケアやうつ病治療に積極的に取り組み、全国の実験となる「男性更年期外来」を大阪に開設。夫の言動への不平、不満がストレスとなり妻の体に不調が生じる状態を「夫婦病」と命名し大きな話題となる。また、60歳を過ぎて包丁を持つ男性のための「男のええ加減料理」を提唱して料理教室を開催。祖父が孫育てに積極的に参加する「育いじい」を推奨。ご自身も4人の女医（妻+娘3人）に囲まれての生活の中、お孫さんの食事や身の回りのお世話を一番に行うなどの家庭内の男女共同参画に取り組む。著書に「妻の病気の9割は夫がつくる」「親を殺したくなったら読む本」「巨人性うつと阪神性不安」ほか多数。



第1部 講演

「イクメン・イクボス・ことはじめ」

石蔵文信 先生 / 大阪大学人間科学研究科 未来共創センター招へい教授
日本原始力発電所協会 代表・イシクラメディカル 代表

第2部 グループディスカッション・懇親会 (無料)

・・・新館南棟 5F ラウンジ 19:30~

※ グループディスカッションは事前申込制となります。(先着 40 名)

ご参加希望者は、下記お問い合わせ先迄お電話又はメールにてお申込み下さい。(保育ルーム託児有・限定数)

主 催

自治医科大学医師・研究者キャリア支援センター

〈お問合せ〉

TEL : 0285-58-7561 内線 2448 FAX : 0285-44-8627 e-mail : career-support@jichi.ac.jp

「働き方を考えるセミナー」開催報告



平成 30 年 9 月 21 日(金)本館講堂 1 に於いて、働き方を考えるセミナーを開催しました。

今回は、大阪大学人間科学研究科 未来共創センター招へい教授の石蔵文信 先生を講師に迎え、「イクメン・イクボス・ことはじめ」と題してご講演頂きました。当日は 75 名の方が出席されました。

石蔵先生は、育児、家事は女性にしか出来ないという固定概念に囚われず、出来る人が出来るときにやればいいを基本理念とし、先生ご自身も家事や孫の世話をするという、家庭内での働き方改革を実践されてい

ます。親しみやすい関西弁の口調の中に、聴く側が自然と笑みがこぼれるフレーズを交えながら、盛況のうちに講演は終了しました。今回のご講演を聴講して、一人でも多くの方に難しく考えずに簡単なことから働き方改革を「ことはじめ」していただければと思いました。



<第 1 部 講演会の様子>

「働き方を考えるセミナー」/第2部グループディスカッション

グループディスカッションテーマ

- ①仕事を元気に続けるコツ
- ②イクメン・イクボスになるためのコツ
- ③働きやすい職場にするために
- ④何でも OK



＜第2部グループディスカッション・懇親会の様子＞

第2部は竣工間もない 新館南棟5階 スカイラウンジにおいて開催されました。

本能に任せる！

- ・今やるべき事を優先して考える。
- ・先々を考えてもアクシデントの連続で思い通りにはいかない。
- ・忙しく時間が無いときにほど、時間を上手に捻出できる。ゆとりがある時ほど時間の捻出が出来ない。
- ・頭で考え過ぎずに、縛られずに冒険した方が良い。

○ 本日のセミナーの内容についてご感想は？

1. 参考になった 33人
2. どちらかという参考になった 12人
3. どちらでもない 2人
4. どちらかという参考にならなかった 0人
5. 参考にならなかった 0人

○ 本日のセミナーの感想、意見(一部抜粋)

- ・子育て、孫育てに焦点を当てた男性・女性の働き方について楽しく学ぶことが出来ました。女性だけでなく、男性が子育てを行うことの必要性やコツについて新しく知ることが多く、とても興味深かった。
- ・感動しました。目からウロコ！という感じでした。将来の旦那さんに聞かせたい。録画して見せたいくらいです。
- ・先生の話はとてもリアルでおもしろくて参考になりました。先生の話をもっと聞かせてあげたかった。
- ・今日のセミナーでかなり自分の将来が見えました。
- ・先生のような上司がいざなると、とても心強いです。
- ・「何が得か」を考えるという先生のお言葉をはじめとして、大きくうなずく事ばかりでした。
- ・要点が明確で有意義な内容。具体的で実践的。刺激的なプレゼンテーション。
- ・非常にためになった。OneOpe育児と化していた。もっと家庭を大切にしよう。
- ・男性も自立して家事、子育てが必要なこと、ある程度のことは割り切ることが必要。
- ・話題が豊富で密度の高い時間となった。また、質疑応答でも活発な議論がなされていて、刺激になった。

育児支援

◆ 医学部学生見学会

医学部学生が、社会学の一環として保育ルームの見学を行いました。

5月29日、6月5日の2日間実施し、医学部1年生合計42名の学生が参加しました。



◆ BLS（救急蘇生法）研修会

保育サポーター、保育士等を対象にメディカルシミュレーションセンター教員による講習会を平成30年11月13日、22日、27日、12月4日に4回に分けて実施しました。



◆ 夏祭り

8月4日 保育ルーム「あいりす」で夏祭りを開催しました。

当日は、20家族60名（スタッフ含む）の参加がありました。



◆ クリスマス会

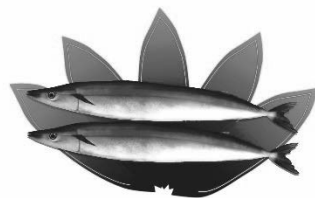
12月15日 保育ルーム「あいりす」でクリスマス会を開催しました。

当日は、18家族50名（スタッフ含む）の参加がありました。



2018. 10.16 「パパ・ママと子どもの食事のはなし」パート9の開催報告

臨床栄養部茂木栄養管理室長を講師としてお招きし、「パパ・ママと子どもも健やかに ～バランスのとれた食事のはなし～」のテーマで講演を行った。参加者：15名、スタッフ12名、合計27名。茂木室長から、食生活指針（健康日本21）を基に、適正な量と質の食事の話を具体的に分かりやすく説明していただいた。アンケートから、ほとんどの参加者が自分自身の食生活の振り返りや見直しを考えるきっかけになり、大変参考になったと回答しており、参加者の関心度が高かった。今回は、利用会員、育休者や同伴の子どもの参加者はなかった。次年度は参加対象者への周知の工夫を検討することが課題である。武蔵野フーズから提供された3つの選択メニューのヘルシー弁当も好評であった。



2018.11.9 「小児科の医師からパパ・ママに伝えたいことーパート 8ー」の開催報告

当保育ルーム「あいりす」の園医である、横山先生から講演を行っていただいた。テーマは「身近に潜む子どもの脅威～Injury Alert の事例報告～」として、19 事例を対応策も含めて紹介された。参加者は、育児短時間勤務の看護師や利用会員・サポーター等 9 名、スタッフ 7 名の合計 16 名であった。アンケートには、子育て中の看護師から、「1 歳の自分の子どもが、ミニカップゼリーのカップをかじっていることがあり、誤嚥の危険が高いことを改めて知り、気を付けようと思った」「気を付けているつもりでも、危ないことがいっぱいの中で生活をしていることを認識できた。子どもを守れるように頑張ろうと思う」などの感想があり、自分の子育ての環境に置き換えて聞いていたように思う。全体的に、自宅での生活環境や危険因子の存在等について再認識できたと述べられており、参加者にとって有意義な内容であり、非常に参考になりました。



平成 30 年度 保育サポート会員懇親会開催報告

平成 31 年 1 月 22 日（火）、保育サポート会員懇親会が会議室で実施されました。

当日は 27 名のサポート会員の出席があり、当センターのアドバイザーであり、病態生化学講師である鴨下先生より「尿から分かる健康と異常」と題して講話がありました。

講話の内容は、動物はナトリウムが神経活動に必要ではあるが、摂取しすぎると、高血圧や脳卒中の危険因子になりうるので、まず自分の食生活を知り、具体的な減塩の仕方を工夫すること、食品の成分表示を確かめること等が大切だということでした。また実際の減塩のコツについてもアドバイスを頂きました。さらに使用したレジュメの中に“この香料は何でしょう”というクイズ問題もあり、サポート会員も大変興味深く拝聴していました。（答：クローブ：丁子）

講話後、サポート会員の方々と当センタースタッフ等と食事をしながら、懇親を深めることができました。

次回の開催時にはまたご協力をよろしくお願いいたします。



地域医療従事医師支援

7月1日（日）午前10時から医学部学生寮大ラウンジにおいて、卒後ワークライフバランスについて考える会 2018 in Jichi が開催されました。

今回は「ワークライフバランスとキャリアの進展～自治医大生でよかったこと、悪（！？）かったこと～」をテーマに、本学卒業生の赤坂真奈美先生（岩手県 16 期：岩手医科大学勤務）、横谷倫世先生（奈良県 21 期：奈良県立医科大学勤務）、松平慶先生（東京都 34 期：東京都福祉保健局、都立病院勤務）を招聘し、講演いただきました。

会場には教職員、医学部学生などが多数参加し、卒業生の発表を熱心に聴講していました。

その後、学生寮大会議室において、グループワークと懇談会が行われました。卒業生を交えた 7 グループに分かれて学生と卒業生、また参加教員とで盛んな議論がなされ、交流を深めることができました。

参加した学生からは、会を通して卒業後について詳しく話を聞くことができ具体的なイメージにつながった、という意見が聞かれ有意義な会となりました。



医師・研究者キャリア支援センターによる保育園建替アンケートの実施結果 ～自治医科大学職員のための院内保育園の設立に向けて～

回答者総数(H30.2.1 現在)

職種	在籍人数	人	%	%
医師	1,007	117	11.6%	7.93%
研究者	92	45	48.9%	3.05%
医療技術職員	381	35	9.2%	2.37%
看護師	1,354	1,109	81.9%	75.18%
事務職員	359	169	47.0%	11.45%
合計	3,193	1,475	46.1%	100%

● 職員全員が何らかの保育施設を利用できるよう、さらに環境整備する必要性はありますか？

	人	%
とても必要	890	60.3%
どちらかという必要	324	22.0%
どちらでもない	157	10.6%
どちらかという必要ない	16	1.1%
必要ない	15	1.0%
記入無し	73	4.9%
合計	1,475	100%

● 院内に保育施設があったら利用しますか？

	人	%
利用する	112	20.6%
利用しない	69	12.7%
条件次第で考える	307	56.5%
わからない	55	10.1%
合計	543	100%

● どのような保育形態が必要と考えますか？

	延べ人数*	%**
通常保育+夜間保育(延長21時迄)	705	39.1%
通常保育+延長保育(19時迄)	345	19.1%
記入無し	335	18.6%
夜間保育	187	10.4%
一時託児	109	6.0%
通常保育(朝～18:00迄)	73	4.0%
その他	49	2.7%
合計	1,803	100%

*複数回答あり、延べ人数にて集計 **延べ総数に対する%

● 閉園時間は、何時が適切と考えますか？

	人	%
20時迄	410	27.8%
24時間	367	24.9%
記入無し	345	23.4%
19時迄	192	13.0%
19時30分迄	93	6.3%
18時迄	33	2.2%
18時30分迄	31	2.1%
17時30分迄	4	0.3%
合計	1,475	100.0%

<職種別>

	医師・研究者・大学院生*		看護師・技術職員*		事務職員*	
	人	%	人	%	人	%
17時30分迄	1	0.6%	1	0.1%	2	1.2%
18時迄	7	4.4%	18	1.6%	7	4.2%
18時30分迄	7	4.4%	16	1.4%	8	4.8%
19時迄	19	12.0%	127	11.3%	42	25.1%
19時30分迄	13	8.2%	61	5.4%	17	10.2%
20時迄	65	41.1%	290	25.9%	48	28.7%
24時間	36	22.8%	299	26.7%	27	16.2%
記入無し	10	6.3%	308	27.5%	16	9.6%
合計	158	100%	1,120	100%	167	100%

● 常時保育以外に必要なサービス上位5位。(点数換算)

<職種別>

総数			医師・研究者・大学院生*			看護師・技術職員*			事務職員*		
	必要サービス	点数		必要サービス	点数		必要サービス	点数		必要サービス	点数
1位	延長保育	4,230	1位	病児保育	482	1位	延長保育	3,116	1位	延長保育	579
2位	休日保育(土・祝日)	2,810	2位	延長保育	471	2位	休日保育(土・祝日)	2,194	2位	病児保育	355
3位	夜間保育	2,419	3位	病中・病後児保育	303	3位	夜間保育	1,944	3位	休日保育(土・祝日)	298
4位	病中・病後児保育	2,173	4位	休日保育(土・祝日)	281	4位	病中・病後児保育	1,615	4位	夜間保育	239
5位	病児保育	2,139	5位	夜間保育	209	5位	病児保育	1,247	5位	病中・病後児保育	212

News Letter

医師・研究者キャリア支援センター Vol. 28 2018/5/22

新メンバーが加わりました！！

アドバイザー・園医就任のご挨拶

アドバイザー就任のご挨拶

高橋 博文 先生（たかはし まさのり）

分子病態治療研究センター・細胞生物研究部、大学院本務教員



今年度より、キャリア支援センター・企画推進部門・アドバイザーを担当することになりました。
センターのミッションのうち、主に、次世代育成支援活動を担当します。育児、復職、時短勤務などの支援は、教育、研究、および診療分野で働く教職員に対して行うものですが、次世代育成支援は、学部生や大学院生を含めた自治医大に属するすべての若手のための支援になります。様々な立場にある学部・大学院生や若手の医師・教職員・博士研究員が今後キャリアを形成していく中で、今共有すべき重要なことは何か？を考え、次世代医師研究者交流会、Jichi Joy Café、働き方セミナー等の企画に反映させていきたいと思っています。また学内には、若手医師向けの病院関連の行事（All Jichi Project）、大学院関連の行事（大学院生ワークショップ）、部局毎の支援などがあります。私は、キャリアセンターが積極的に各部門と横断的に関わりを持つことで、大学として良い企画ができると考えています。そのためには、キャリアセンターからの情報発信、他部門との情報共有に力を入れたいと思います。皆様方の要望も随時お寄せ頂きますと大変有り難いです。どうぞ宜しくお願いいたします。

アドバイザー就任のご挨拶

加藤 梨佳 先生（かとう りか）

精神医学講座 病院助教



平成 30 年度 4 月からアドバイザーに就任いたしました。Jichi Joy Café に参加させて頂いたのをきっかけに、昨年度から医師・研究者キャリア支援センターの講演会やアンケート調査などの活動のお手伝いをしています。現在は精神科医として診療と研究をメインに仕事をしていますが、10 年以上産業医として労働者の仕事と健康の支援をしています。これまでの経験を活かし、微力ながら子育てや介護、ご自身の疾病など仕事との両立支援のお手伝いをさせて頂きたいと考えています。宜しくお願い致します。

園医（保育ルーム「あいりす」）就任のご挨拶

横山 孝二 先生（よこやま こうじ）

小児科 講師



平成 30 年度の保育ルーム「あいりす」の園医を担当することになりました小児科の横山と申します。
「あいりす」は、当センターの育児支援部門として自治医科大学に勤務する教職員の皆さまのキャリア支援や就労支援を目的に運営されています。当保育ルーム（病児保育を含む）を利用される教職員の方々が安心してお子さんを預けられる環境づくりに努めて参りたいと考えています。ご意見等ございましたら、どんな些細なことでも構いませんのでおっしゃってください。宜しくお願い致します。

☺ 育児支援部門 保育ルーム「あいりす」についてのご案内 ☺

保育ルーム「あいりす」は平成 30 年 3 月末日現在、利用登録会員は 169 名（266 名のお子さま）となっております。自治医大にお勤めの方々がご利用いただく事が出来ますが、事前の登録が必要となります。一時託児、病児保育、夜間保育のご利用内容については、自治医科大学 医師・研究者キャリア支援センターのホームページをご確認ください。

また、保育ルーム「あいりす」では、利用会員を対象に

- ① 毎月第 4 曜日午前中に「あいりすタイム」（利用会員の交流の場）の実施。
- ② 各種講演会・夕涼み会・クリスマス会等のイベントの実施。
- ③ 情報誌「あいりすだより」及び利用会員のお子さまに「手作りのお誕生日カード」をお届けしております。

保育ルーム「あいりす」では、マンツーマンの保育サポーター制を取り入れていますので、お子さま一人一人に寄り添った保育の実現により、安全で楽しい時間を過ごしていただけます。
また、様々なサポートを実施いたしておりますので、どの様なことでも是非ご連絡ご相談ください。
一例ですが、「こんな時、こんなサポートができます」を参考までにご紹介します。

利用例①こんな時・・・手続き編

こんな時は・・・	こんな対応ができます	備考
初めて利用する方 お勤め先で「あいりす」へ初めてお勤めされる方 お勤め先で「あいりす」へ初めてお勤めされる方 お勤め先で「あいりす」へ初めてお勤めされる方	【お勤め先】へお勤め先で「あいりす」へ初めてお勤めされる方 お勤め先で「あいりす」へ初めてお勤めされる方 お勤め先で「あいりす」へ初めてお勤めされる方	【お勤め先】へお勤め先で「あいりす」へ初めてお勤めされる方 お勤め先で「あいりす」へ初めてお勤めされる方 お勤め先で「あいりす」へ初めてお勤めされる方

利用例②こんな時・・・病児保育編

こんな時は・・・	こんな対応ができます	備考
お勤め先で「あいりす」へ初めてお勤めされる方 お勤め先で「あいりす」へ初めてお勤めされる方 お勤め先で「あいりす」へ初めてお勤めされる方	【お勤め先】へお勤め先で「あいりす」へ初めてお勤めされる方 お勤め先で「あいりす」へ初めてお勤めされる方 お勤め先で「あいりす」へ初めてお勤めされる方	【お勤め先】へお勤め先で「あいりす」へ初めてお勤めされる方 お勤め先で「あいりす」へ初めてお勤めされる方 お勤め先で「あいりす」へ初めてお勤めされる方

利用例③こんな時・・・送迎・ルーム編

こんな時は・・・	こんな対応ができます	備考
お勤め先で「あいりす」へ初めてお勤めされる方 お勤め先で「あいりす」へ初めてお勤めされる方 お勤め先で「あいりす」へ初めてお勤めされる方	【お勤め先】へお勤め先で「あいりす」へ初めてお勤めされる方 お勤め先で「あいりす」へ初めてお勤めされる方 お勤め先で「あいりす」へ初めてお勤めされる方	【お勤め先】へお勤め先で「あいりす」へ初めてお勤めされる方 お勤め先で「あいりす」へ初めてお勤めされる方 お勤め先で「あいりす」へ初めてお勤めされる方

保育ルーム「あいりす」ではサポート会員を募集しています。
お子さまが大好きで子育て経験がある方であればひたでも OK です。
興味のあるお知り合いの方をご紹介してください。
詳しい内容につきましては、下記保育ルーム「あいりす」までお問い合わせをお願いします。

医師・研究者キャリア支援センター
内線：2448
mail: career-support@jichi.ac.jp

保育ルーム「あいりす」
内線：2445
直通：0285-58-7572



< 平成 30 年度の予定 >

- 6 月 サポート会員交流会
- 8 月 「あいりす」夏祭り
- 9 月 All Jichi Project
- 10 月 「働き方考えるセミナー」講演会
パパ・ママと子どもの食事はなし
- 11 月 小児科医からパパ・ママに伝えたいこと
- 12 月 サポート会員懇談会・救急蘇生法(BLS)
「あいりす」クリスマス会
- 2 月 次世代医師・研究者交流会講演会

※ Jichi Joy Café (6 月 11 日、翌年 2 月開催)

News Letter

医師・研究者キャリア支援センター
Vol. 29 2018/10/29

働き方考えるセミナー 「～男女共に考える働き方改革～」

2018.9.21 於：本館 3F 講堂 1

今年度は、大阪大学人間科学研究科 未来創成センター招へい教授の石橋文信先生をお招きして「イクメン・イクボス・こどもはじめ」と題してご講演頂きました。当日は多くの男性職員や管理職の先生方にも足を運んで頂き、75 名の方々にご参加いただきました。石橋先生は、先生ご自身も家や仕事との両立をなさるという様な家庭内での働き方改革を実践していらっしゃいます。「育児では授乳など女性にしか出来ないこともあるけれど、男性は家事なら出来るはずだから男性がやる。男性が育児に関わるようするためのコツは「えづけだった」等々の、目から鱗が落ちるようなノウハウを惜しみなく披露していただきました。

関西弁の中に自然と笑みがこぼれるフレーズを交えながら、感心と笑いの中で講演は終了しました。今回のご講演を聴講し、一人でも多くの方に簡単に考えずらい働き方改革を「ことはじめ」していただければ良いと感じました。医師・研究者キャリア支援センターでも皆さんの働き方改革の少しでもお役に立てる催事をこれからもどんどん企画していきたいと考えております。

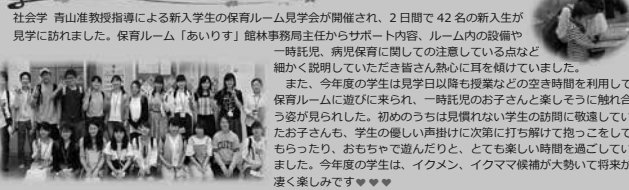


※詳しくは、医師・研究者キャリア支援センターHPをご覧ください

新入学生の保育ルーム「あいりす」見学会

2018.5.29/6.5 於：保育ルーム「あいりす」

社会学 青山准教授指導による新入学生の保育ルーム見学会が開催され、2 日間で 42 名の新入生が見学に訪れました。保育ルーム「あいりす」館長事務局長主任からサポート内容、ルーム内の設備や一時託児、病児保育に関しての注意している点など、また、今年度の学生は見学会以降も授業などの空き時間を利用して保育ルームに遊びに来られ、一時託児のお子さんと楽しく遊べる環境づくりが実現しました。初めのうちは慣れない学生の訪問に敬遠していたお父さん、学生の優しい声掛けに次第に打ち解けて抱っこをしてくれたり、おもちゃで遊んだり、とても楽しい時間を過ごしていました。今年度の学生は、イクメン、イクママ候補が大勢いて将来が楽しくみです♡♡♡



小宮根真弓センター長の記事が 月刊「新医療」に掲載されました!!



※詳しくは、医師・研究者キャリア支援センターHPをご覧ください

第 7 回 Jichi Joy café (通称: JJC)

2018.7.20
於：新館 2F 会議室

「医療界も innovation を考えなければならない時!!」

平成 30 年 7 月 20 日(金)自治医科大学附属病院 新館 2F 会議室 1 に於いて、第 7 回 Jichi Joy Café を開催致しました。
今回は、自治医科大学附属病院「究極のボス」佐田病院長をお招きいただきました「働き方と考える多様性(ダイバーシティ)」と題してご講演いただきました。佐田先生ご自身の働き方に関する考え方、さらには外科医局において取組まれている働き方の多様性の事例を紹介していただきました。その中で、自分のやりたいこと好きなことをやる事が、エネルギー源となり(快感源)モチベーション維持に大きく繋がるというお話が印象的でした。そして、自分のやりたいことをやるために、同じ職場で働く同僚のやりたいことにも協力することに繋がり、「お互い様精神」が生まれる事、更には個人がやりたいことを組織がサポートすることで、組織も共に成長出来るというお話は、本学で勤務する医師・研究者の励みになるメッセージでした。なかなか普段は聞けないお話が伺え、忌憚なく佐田病院長のお話を聞かせていただきました。誠にありがとうございました。



皆さんに認知されてきた「JJC」

パパ・ママと子どもの食事はなし

2018.10.18(火) 於：保育ルーム

臨床栄養部の茂木栄實管理室長を講師としてお招きし、パパ・ママと子どもも一緒に～パランスのとれた食事のなまし～のテーマでご講演いただきました。茂木室長からは、生活食設計(健康日本 21)を基に、適正な量と質の食事の話を体系的に分かりやすく説明していただきました。アンケートからは、ほとんどの参加者が自分自身の食生活の振り返りや見直しを考えるきっかけになり、大変参考になったとご回答いただき、参加者の食に対する関心度が非常に高かったです。武蔵野フーズから提供された 3 つの選択評価のベシシー弁当 3 種も大好評でした。

「今後の行事予定」
・ 11 月 2 日 第 8 回 Jichi Joy Café
・ 11 月 9 日 小児科医からパパ・ママに伝えたいこと
・ 11 月 13 日 - 12 月 4 日 救急蘇生法(BLS)講習会
・ 12 月 15 日 「あいりす」クリスマス会
・ 1 月 サポート会員懇談会
・ 2 月 第 9 回 Jichi Joy Café
・ 3 月 次世代医師・研究者交流会

保育ルーム「あいりす」なつまつり

2018.8.1(土) 於：保育ルーム「あいりす」

毎年恒例の夏祭りを 8 月 4 日(土)に開催いたしました。20 家族 60 名の方々にご参加いただきまして、定番のボーリングや魚釣りに加えて今年話題のカーリングをアレンジしたゲームやたこ焼きをモチーフにしたボールゲーム、自分で制作するフォトデコレーション等の新作アトラクションで楽しんでいたいただきました。中でも、保育士さん達による大作「トトロ」との記念撮影は、子供たちのみならず保護者の皆さんからも、等身大トトロとってちがいくて記念写真が撮れてうれいでしたとお声をいただきました。来年も乞うご期待ください ♪

夏祭りに「トトロ」出席(8/4)

医師・研究者キャリア支援センター
内線：2448
mail: career-support@jichi.ac.jp

保育ルーム「あいりす」
内線：2445
直通：0285-58-7572



統計(2018年度)

① 短時間勤務者(医師)

- ・ 20 時間時短勤務利用者数 34 名
- ・ 育児短時間勤務者数 9 名

② 保育ルーム「あいりす」

- ・ 利用件数 1,882 件
- ・ 利用会員数 174 名
- ・ サポート会員数 33 名

③ Jichi Joy Café

- ・ 第 7 回(H30. 7. 20) 参加者 27 名
- ・ 第 8 回(H30. 11. 2) 参加者 15 名
- ・ 第 9 回(H31. 2. 1) 参加者 15 名

④ 「働き方を考えるセミナー」(H30. 9. 21) 参加者 75 名(男 31, 女 44)

⑤ 「次世代医師研究者交流会 サイエンスカフェ」(H31. 2. 27) 参加者 30 名(男 15, 女 15)

医師・研究者キャリア支援センター活動報告書（2018）

令和元年 9 月（発行）

発行元 自治医科大学 医師・研究者キャリア支援センター

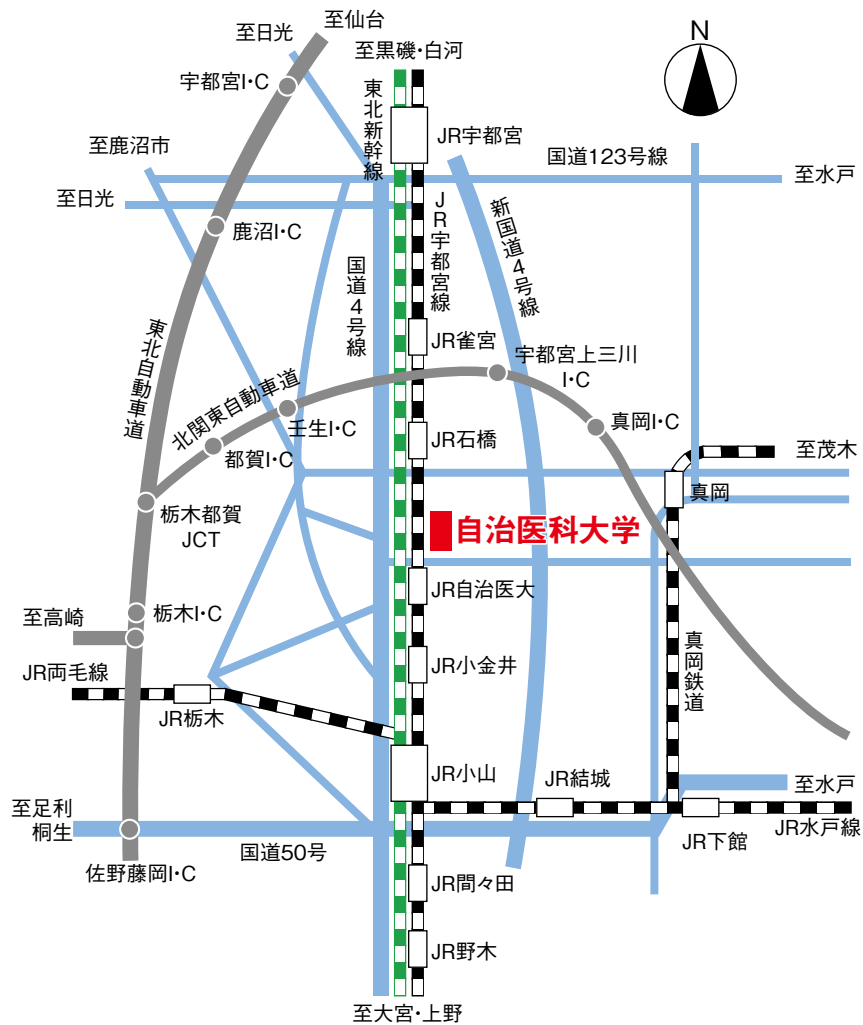
＜連絡先＞

T E L 0285-58-7561

F A X 0285-44-8627

career-support@jichi.ac.jp

アクセスマップ



JR 自治医大駅より徒歩 10 分